



考察

全校の傾向を把握するため、今年度から、低学年・高学年別のアンケートをやめて、全校で同じ項目のアンケートを実施しました。

全体として、「③宿題をやっている。」、「⑥日直や、係の仕事や、そうじを進んでやっている。」、「⑧友達と仲良く生活できる。」、「⑫交通ルールを守っている。」は特に高い評価でした。一方で、「⑦放課には、外で遊んでいる。」、「⑪自分のよいところがわかる。」、「⑭地域の行事や活動に参加することができた。」は低い評価でした。

外遊びについては、よさを伝え、励行していますが、屋内で過ごしたい児童も一定数います。一人一人の気持ちを大切に指導・支援している結果だと捉えています。地域行事については、コロナ禍を経て、さまざまな行事が再開されました。コミュニティ・スクールや半田市、成岩四区や協和区の行事に児童が参加し、半田好き、成岩が好きな児童が育ってくれたらと願っています。

「⑪自分のよいところがわかる。」、「⑮将来の夢をもっている」は本校が長年取り組んでいるキャリア教育に関連するところです。夢をもつことの数値が高い一方、自分のよさにはまだ気づけていない子がいることが分かりました。キャリアパスポートを継続的に記入し、自分自身を振り返るだけでなく、互いのよさや自分のよさに気づけるように、毎週水曜日の朝の「成っ子タイム」に行っているアサーショントレーニングや授業の中での学び合い、ペア学年との交流など他者とかがわる取組に力を入れていきます。